

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（113）」

2. 日時：令和2年11月11日（水）16時00分～17時43分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

北海道電力株式会社：藪執行役員 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・ 泊発電所3号炉 地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答（令和2年9月10日、11日現地調査における指摘事項を踏まえた調査の進捗状況）

・ 泊発電所 基準津波策定のうち日本海東縁部の津波評価について【令和2年10月26日提出資料】

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁の谷です。
0:00:07	今日はですね、泊発電所 3 号炉の地盤に関するコメント回答として、今年の 9 月 10 日、11 日の現地調査における指摘事項を踏まえた調査の進捗状況ということと、あとは、
0:00:24	今年の 10 月 26 日に提出を受けています基準津波策定のうち日本海等縁部の津波評価についてということで設定ヒアリングを行いたいと思います。
0:00:36	うん。
0:00:38	北海道電力から説明のほう、お願いいたします。
0:00:43	はい、北海道電力のマツムラです本日どうぞよろしくお願いいたします。今タニさんからあった通り影響 2 件、よろしく申し上げます。最初にまず地盤に関するコメント回答ということで、9 月の現状を踏まえた
0:01:00	進捗状況とあわせて今後の資料の構成案についても御説明させていただきたいと思います。その後津浪に関して、10 月 26 日に提出させていただいた工程について御説明させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
0:01:16	それではまず一番のほうから説明いたします。
0:01:24	北海道電力の渡辺です。9 月現地調査における指摘事項を踏まえた調査の進捗状況について御説明いたします。よろしく申し上げます。
0:01:33	2 ページをお願いいたします。
0:01:38	2 ページ、現地調査における指摘事項、10 月 9 日に提出したものと変更はございません。計七つを示してございます。4 ページをお願いいたします。
0:01:52	調査工程になります。9 月現地調査における指摘事項を踏まえた調査工程を下表に示しております。
0:02:00	検討の内容につきましては、表の上から順に指摘の 1 から 7 に対応してございます。
0:02:07	調査は概ね工程通り進捗していることから、本調査結果を踏まえた F1 断層の活動性評価及び f1 断層も含めた敷地内断層の活動性評価については予定通り 12 月中旬に説明したいと考えております。
0:02:24	町の見方ですが、表の上の凡例にございますとおり、青のバーが観察分析測定中活 9 日に提出した工程のままですと、黒のバーが検討考察資料作成 10 月 9 日に提出した工程のままとなります。
0:02:41	また、青で囲まれた、黒の場合になりますけどもこれが検討考察資料作成 10 月 9 日提出工程からの追加延びたものを示してございます。具体的には表の上から 4 行目 PS3 ユニットが改正さ層に挟在していたとする根拠の提示

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:01	敷地の地形改変履歴の整理、当初 10 月上旬としていたものを現在 11 月下旬完了見込みに修正しております。
0:03:11	二つ目が、上から 6 行目、敷地周辺における搭乗発生事例の確認、こちらも 11 月上旬としていたものを 11 月下旬に延ばしております。
0:03:22	はい。
0:03:23	また工程表に示す検討内容に対します検討状況は 5 ページから 6 ページのほうに示しております。それと 12 月中旬に説明予定の敷地内断層の活動性評価に関する資料構成案につきましては、8 ページから 9 ページのほうに示してございます。
0:03:43	ページお願いいたします。
0:03:46	検討状況についてです。区分削調査箇所北側について検討内容 M1 ユニット株の差礫層が F1 の影響を受けていると判断根拠の再整理
0:03:58	その上で、DF2 ユニットが f1 断層の影響の有無について評価可能であるとした考えの明確化です。検討状況です。露頭再観察の結果に基づき、M1 株のさ礫層には f1 断層によって基底面が変位している状況。
0:04:16	西上がりの撓曲構造比較的裁量なそう想定する箇所においては、西上がり逆断層センスの小断層が認められるなど、F1 の活動による影響を受けていると判断される根拠を改めて整理しております。
0:04:32	チャンネル状に M1 を侵食する DF2 ユニットさ礫層については、この構造のうち特に基底面の変位及び比較的裁量なそう想定する箇所での断層の有無に着目することで、F1 による影響の有無について評価可能であるとの考えを明確にしております。
0:04:51	区分削調査箇所南側に移ります。
0:04:55	旧海食崖との関係で見かけ仲介職が多いように、DTSさんが堆積していると説明した箇所の堆積状況の明確化です。
0:05:05	露頭再観察により、当該箇所付近における DS3 の堆積状況を改めて確認した上で、この結果も踏まえて作成いたしましたパネルダイヤグラムを用いまして、DTSさんの分布状況、
0:05:19	旧海食崖の分布状況等を明確にしております。
0:05:23	その上で、PS3 は、上位の森度とは明確に区別されること。
0:05:28	12 号炉建設前の旧海食崖の標高から、当該箇所付近の Tsさんは旧海食崖壁面の局所的な水平部状に分布しているものと評価をしております。
0:05:41	また、旧海食崖壁面の局所的な水平部上に、Tsさんが分布する状況というものについては、わかりやすさの観点から三次元イメージ図を用いて説明することを考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:55	火山礫凝灰岩のブロックと評価した箇所の観察事実に基づく改めての評価です。
0:06:02	ブロックと評価いたしました箇所については、れきまじりシルトまじり砂が充填するくさび状の構造によって基盤何と境されること、これを根拠としておりましたが、露頭再観察の結果、その一部はシルトのそうそう示す。
0:06:18	薄い充填物、つまりブロックと基盤側の境界が不明瞭な部分がありますことから、基盤側に評価を見直すことといたしました。
0:06:28	TSIユニットが改正さ層に挟在していたとする根拠の提示、敷地の地形改変履歴の整理、これは今現在も検討中のものとなります。
0:06:39	敷地の改変履歴につきましては、過去の空中写真の比較から、12号建設前には規模の大きい改変が行われていないことを確認してございますが、この角度を高めるため、空中写真からF1開削箇所付近の地形図、これを作成し、詳細な確認を今実施しているところとなります。
0:06:59	また、F1開削箇所のスケッチに示されたの生き方部の盛堂については、12号炉建設時の工事記録写真から当該調査箇所の掘削度であることを改めて確認してございます。
0:07:12	これらの結果を踏まえ、開削調査箇所、南側に認められるPS参加体制堆積物に挟在していたと評価する根拠を明確にいたします評価の流れにつきましては、一度6ページのほうをお願いいたします。
0:07:31	6ページの破線が込みの中になります。
0:07:36	黄色囲みの中です、敷地の12号炉建設前の地形に関しては、過去の空中写真から規模の大きい改変が行われていないことを確認してございます。
0:07:46	開削調査箇所南側において、M1ユニットの上位認められるPSIユニット標高50.5に分布については、このユニットを含む上位の地層が改変によって失われていることから、近接するF1開削箇所との比較などを実施。
0:08:03	その体制堆積状況について評価いたします流れは以下の通りになります。まず左側のフローですが、F1開削箇所との比較となります開削調査箇所南側とf1開削箇所は近接し同一地形上に位置します。
0:08:19	また、これらの背後には旧海食崖が分布し、同一堆積場であります。
0:08:24	F1開削箇所には改正堆積物が標高約54メートルまで認められています。このことから、開削調査箇所南側においては、F1開削箇所と同様、標高54メートル程度まで改正堆積物が分布していたものと推定されます。
0:08:42	右側のフローです。TSIIにどの状況についてです。TSIユニットとその下位に認められるTS12ユニット、これは各種観察分析測定の結果、同様な性状を有していると考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	開削箇所南側において標高約 50.5 に認められるPSI日当はTS12 ユニットに類似しているこれらの状況からPS3 は改正堆積物に狭在していただくものと評価、このような流れで評価をしたいと考えてございます。
0:09:14	5 ページに戻ってください。
0:09:19	5 ページの表の一番下となります。BS3 成分を含みます、これとTs2m位置などについての既往データの再整理斜長石の屈折率測定主成分分析PS3 中の料理が認められる箇所における堆積構造の観察などを踏まえた
0:09:38	ユニット区分の根拠の明確化。
0:09:40	TSIユニットについての堆積時期成因等の検討形成史への反映、これも今現在検討中のものとなります。
0:09:50	ユニット区分の根拠の明確化、PSIユニットの堆積時期繊維などの検討のため、既往データの再整理と以下を実施してございます。
0:10:00	各堆積物中に認められる斜長石の屈折率測定中成分分析を実施中です。
0:10:06	現段階におきましては、屈折率測定の結果、PS3 繊維部、M1 に含まれる斜長石はいずれもナトリウムに富む斜長石賛成させちゃ長石から変わる趣味東部斜長石塩基性斜長石の範囲に広く認められますが、
0:10:23	中性斜長石の範囲を示すものが多い状況です。
0:10:27	SIに途中の容量が認められる箇所及び下の行に移りますが、上に凸の構造については詳細観察に基づくスケッチを作成しの段階です。
0:10:39	TSIに途中に認められる歴の引き延ばしをの構造については詳細観察に基づくスケッチを作成するとともに、薄片観察も実施中でございます。
0:10:50	て参与に途中及び基底面に認められる 1000 構造についても薄片観察を実施の状況です。
0:10:58	これらの検討完了後に形成史への反映を図っていくと考えてございます。
0:11:03	6 ページをお願いいたします。
0:11:08	6 ページ区分その他になりますが、敷地周辺における搭乗発生事例の確認、これも今現在検討中のものとなります。
0:11:16	敷地周辺において登場発生事例を報告した文献は確認できてございません。
0:11:22	文献レビューの結果としましては、敷地周辺は、北海道において高温大切な地域に属することから、東城発生が少ない地域であるといったことを確認してございます。
0:11:34	東城に関します知見率に関しましては、引き続き、有識者への聞き取りを進めている状況にございます。
0:11:42	31 円盤の森の確認ヶ所認められる改正砂層堆積状況の資料か。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:49	露頭再観察の結果に基づき改正砂層のそうそう分布標高などを整理しております。
0:11:55	その上で、当該砂層について積丹半島西岸における改正段丘の特徴をしようとした地層区分を行い、
0:12:03	分布標高の観点から、MIS5eより古い機械成層と評価することとさせていただきます。
0:12:10	8 ページ、9 ページ、見開きでお願いします。
0:12:19	こちらは敷地内断層の活動性評価に関する資料構成案となります。
0:12:25	9 月の現地調査時の公表におきまして、次回会合においては、理論構成をしっかりと組み立て基準適合していることがわかるように説明することとのコメントを受けてございます。
0:12:36	10 月 2 日ラップアップ面談におきましても同趣旨のコメントを受けてございます。これらを踏まえますと、12 月のヒアリング資料といたしましては、敷地内断層の活動性評価の全体像、これも説明する必要があると考えました。
0:12:51	このため、今回進捗報告に合わせました資料構成についても説明することが最良と考えた次第です。構成といたしましては、一生敷地及び敷地近傍の地形として、これらの地形状況、文献断層変異地形分布などの確認をいたします。
0:13:10	2 章、敷地の地質地質構造、敷地において、11 条の断層認定した上で、断層と耐震重要施設等との位置関係を整理いたします。
0:13:21	参照において、断層の系統分類及び各断層系の新旧関係、
0:13:27	敷地に認められる 11 条の断層について断層の特徴による系統分離を行い、切り合いの関係をより各断層系の新旧関係を確認いたします。
0:13:38	この結果として、切り合いの関係などから、活動時期が相対的に新しい断層、F1F4F11 断層を抽出いたします。
0:13:47	フロー右上に上がりまして 4 章、積丹西岸における改正段丘の特徴の整理、
0:13:54	F1 断層開削箇所付近並びにf4F11 断層開削箇所に分布する堆積物の地層区分を実施するに当たり使用となります積丹西岸の改正段丘の特徴の整理と旧汀線高度の考察をいたします。
0:14:10	から枝分かれいたします故障F1 の活動性評価なお 5 章構成の詳細については 10 ページのほうで御説明いたします。
0:14:19	ここではF1 断層について将来活動する可能性のある断層等に該当するか否かを評価いたします。この位置が堆積物の地層区分、この 2 が上載地層によるf1 断層の活動性強化。
0:14:34	6 章F4F11 断層の活動性評価構成は 5 章と同様なものとなります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:41	これらを踏まえ 7 章、総合評価、敷地に認められる 11 条の断層は将来活動する可能性のある断層等に該当しないことを説明したいと考えてございます。
0:14:53	9 ページをお願いいたします。
0:14:56	こちらが 5 章の詳細構成ですが、F1 の活動性評価、この一章が地層区分です、f1 断層開削箇所付近における地層区分は以下の 3 ケースを基本に行います。
0:15:09	しかし、12 号炉調査値の F1 断層開削箇所に関するデータでは地層区分、地層区分実施後の活動性評価に関する詳細な検討が難しいことから、検討を実施するにあたり以下の 3 地点において追加の開削調査を実施してございます。
0:15:27	この 1-1 が開削調査の北側、それに付随する追加開削調査箇所となります。追加開削調査箇所については、注釈を打ってございますが、開削調査箇所北側に認められる堆積物の旧海食崖での付近の分布状況を確認することを目的に、
0:15:45	開削調査箇所北側における、その東側において実施したものととなります。
0:15:51	ここでは、本調査箇所に認められる基盤が堆積物について、各種観察分析測定に基づき地層区分を行い、
0:16:00	それを実施した後に堆積物の相当層分布標高などに着目しユニット区分を実施いたします。
0:16:07	右側 5-1-2、開削調査箇所南側です。
0:16:12	本調査箇所に認められる基盤が堆積物について、各種観察分析測定及び開削調査箇所北側との対比により地層区分とユニット区分を行います。
0:16:24	このうち PS31 については、下部に存在する繊維部を含め、堆積環境などの明確化のための詳細検討を実施いたします。
0:16:33	現段階では繊維部はこれまでの評価通り、イーピーエスさんが下位の M1 を侵食して取り込むことによって形成された可能性、
0:16:43	或いは M1 ユニットを侵食する改正由来の堆積物である DS サイトとは区別される可能性のいずれもが考えられてございます。
0:16:52	斜長石の分析結果繊維部中のラミナ様の堆積構造に関する詳細観察結果を踏まえて総合的に判断していきたいと考えてございます。
0:17:03	この 1-1、この 1-2 のユニット区分、地層区分を踏まえまして、5-1-3、追加解釈調査結果を踏まえた F1 断層開削箇所付近の地層区分、
0:17:15	4 章において整理しております積丹西岸における改正段丘の特徴を指標としまして、長期の 3 ケースの地層区分を実施するものとなります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:26	それを踏まえた後に、上載地層によるf1 断層の活動性評価、2 の 1F1 の認定開削北南に認められるF1 と考えられる断層をf1 認定するために、既往f1 断層の位置関係も踏まえまして、
0:17:43	上で、F1 との性状の類似性を確認していきます。
0:17:47	2-2、F1 断層と小断層開削調査箇所北側、南側において以下の検討観察などを行います。F1 とその上位に認められる小断層の関連性。
0:18:01	B、F1 断層と小断層の累積性C小断層の上端付近の詳細観察止めの評価になります。これらを踏まえて、5-2-3、F1 の活動性評価開削箇所北側、南側及びf1 開削箇所を踏まえた
0:18:20	F1 断層の総合的な活動性評価を行います。また、f1 断層の活動性評価結果を踏まえまして、F1 開削箇所付近の形成史についても考察をいたします。
0:18:33	当ページにおいて、朱書きしているものは、現地調査でいただいた指摘の番号書いておまして、それらの指摘回答をどこに入れ込むかといったものを示してございます指摘の 67 に関しましては、右側上に破線が込みである通り、
0:18:49	補足説明資料のほうで回答するといったことを考えてございます。資料の説明については以上です。
0:18:59	はい。
0:19:03	規制庁タニです。津浪の話に移る前に、まずこの
0:19:09	進捗状況について確認をしたいと思います。
0:19:14	順番に確認していきたいと思うんですけども、
0:19:18	最初の調査工程ですね。
0:19:21	この調査工程っていうのは、何か 2 ヶ所ほど、
0:19:28	当初よりも伸びるところがあるよっていう話で、
0:19:34	どうしてどうして伸びているのかっていうのをちょっと簡単に説明したいだけたらと思うんですけど、あとは、その辺の検討が少し伸びても、最終的な説明の時期は、これは変わらないっていう、
0:19:50	工程になってると思うんですけどそれは 12 月中旬というのは変わらないということでもいいですね。
0:19:55	まず伸びているどうしてなのかっていうのを確認させてください。
0:20:03	ワタナベです。工程に関しまして 4 ページを使って御説明させていただきます。
0:20:09	伸びてる工程が上の行から四つ目になりまして、地形の改変履歴の整理というところが該当してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:16	当初予定といたしましては、過去の空中写真、これを判読し、この各年代ごとの比較から、大きな改編が行われていないといったところを説明することを基本方針としてございました。
0:20:29	ただ、判読という観点でいくと、やはりどうしても定性的な部分も入ってくるので、できれば少し定量化いたしたいと考えたときに、今の空中写真を通過して、地形図を作って、それによる比較を行って、少しでも確度を上げてあげよう。
0:20:45	いう取り組みをしてございましてその観点で少し工程が伸びているというふうになっております。
0:20:51	また、下から二つ、三つ目、東城発生時での確認になりまして、これがコメントとして積丹周辺で登場の事例があれば、
0:21:01	確認することということがございまして、これまで有識者聞き取りなども進めてきたんですけども、有識者に確認したところ、搭乗に関しては、それに伴って例えば大規模な災害が起きているような状況であれば、資料として取りまとめ記録を残すんですけども、
0:21:19	一つ一つを整理しているといったようなものは基本的になくて、積丹周辺で、ここで投書が起きてますっていうものを整理しているものは基本的ないよと言ったようなことを言われてございまして、その代わり文献レビューを進める中で当社としては、
0:21:34	ここで言うと6ページすいませんお願いします。
0:21:38	6ページの上の表にありますけど、ふた丸めなんですけれども、気候条件で行ったときに、泊周辺はどのような状況になるんだろうか。
0:21:48	考えますと北海道の中では、高温大切な地域という状況にありますので、仮設というところ、これは雪による断熱効果が本効果がある高温ということで、凍結する深さが浅いといったところで相対的には、
0:22:04	凍上が発生しづらい地域であるといった状況がレビューできているんですけども、それ以外にも知見がないかどうかということで、有識者への聞き取りを引き続き進めているといったところで、工程が伸びてございます。
0:22:16	これらを踏まえたとしても、今現在予定している12月中旬以降説明、これに影響を与えないので、当初予定通り11月中旬に説明したいと思っております。以上です。
0:22:30	すごいタニです。この状況を確認できました。
0:22:34	ここでの
0:22:43	はい。引き続き進捗状況について、
0:22:48	順番に確認していこうと思って。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	てるんですけど。
0:22:52	私のほうをちょっと確認したいところとしてはですね。
0:22:57	この開削調査箇所北側の
0:22:59	の検討状況ということで書かれているんですけども、
0:23:03	これって
0:23:06	二つ目の丸ですね。
0:23:09	藤田断層による影響の有無について評価可能であるとの考えを明確にしたということなんですけど、これは来た開削調査箇所北側の南側壁面の話なんですかそれとも南も北もあわせて、
0:23:25	科医、こういった状況になってるということなんです、ちょっとその辺を教えてください。
0:23:32	ワタナベです。基本的には開削調査箇所北側ということで来た駅南駅と区別してございません。一律同じものとして考えているということです。
0:23:47	規制庁タニです。つまり北、北側の北行きも南駅もこれ我々あの現地調査を行った後に我々の見解として書いてるわけなんですけど、それを踏まえても、南側でもなく北側も、
0:24:05	説明しているってということなんです。
0:24:09	ワタナベです。あと、おそらく現地調査のときに御お話しいただいたきた兵器の方だと、断層の向きとチャネルの向きがちょうど平行になっちゃうので見づらいんじゃないかといった観点のことですよ。
0:24:25	そういう部分も確かにあろうかとは思んですけども、仮にF1断層がDFにユニットに何らかの影響を与えているのであれば規定の変異がちょうど重なって見づらい部分もあるかもしれないんですけどもう一つの着目点として、
0:24:41	裁量な想定している部分であることは間違いないので、せん断構造が見えてくるはずだといったところは着目点として有用なんじゃないかと考えて、特にここでは、北はNCですとかっていう記載ではなく、両方とも評価できるんじゃないかという思想でまとめてございます。以上です。
0:25:02	はい。規制庁タニです。
0:25:05	今やられてることとしては両方やってるってことで確認できました除この中身はですね、どっちにしても、資料にさせていただいてからの議論かと思ますので、状況が確認できました。
0:25:28	あとはですね。
0:25:30	土木の方。
0:25:32	業務の一番下の行で一番下の行用料

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:38	ユニット区分の根拠の明確化っていうところで斜長石の屈折率測定及び主成分分析を実施中ということで、現状をですね。
0:25:49	TSIユニットとM1 ユニットの斜長石っていうことで下位遷移簿及びM1 うにか、
0:25:56	で書いてるんですけどこれって結局、
0:25:59	Tsさんとその繊維部。
0:26:03	M1 ユニットだけを対象にしているんですけど、まだほかにもやってるんですか。
0:26:12	こちらについては、今現状を運営。
0:26:16	屈折率がほぼで想定について書いているんですけどもプラスとしてですね、比較対象は要るだろうなと思っておりまして、例えば開削調査箇所の南側で旧海食崖が存在してるんですけども。
0:26:31	旧海食崖の中にはどういった斜長石が含まれているのか。
0:26:37	そして、明らかにN1 に挟在しているTSITs数人と今どのような特徴があるのかといった部分の比較対象としては必要だろうと考えておりまして、その辺の屈折率は今測定を進めているという状況になります。以上です。
0:26:58	はい規制庁谷です。だからここに書かれてるのは何か状況がわかっているようなものに対して書いてるけれども、その他、
0:27:06	周辺に見られるものは網羅的にやってるっていうことで理解していいですか。
0:27:11	はい、そうです。
0:27:13	結果が得られてるものについては記載させていただいております。
0:27:18	はい。
0:27:22	これちょっと実際どういうことをやっていて、その中でこういうところがわかってきたよというのはやってることがわかるようにちょっと書いていただけたらなと思います。今の説明で私の理解しましたので、
0:27:35	あとはこれあれですよ多分この斜長石とかって、この分析だけをして、当然
0:27:43	何かそれだけを現地のこれだけを見てもなかなかいえることはなくて、例えば周辺のですね、地質の状況だとか、要するに降灰環境降灰地質のことを整理しなきゃいけないんだと思うんですけど。
0:27:59	その辺についてもしっかり進められてるっていうことでよろしいですか。
0:28:05	その現地調査にも御指摘いただいていると例えばN1 が広い範囲から集まった斜長石が入ってるのであれば、過去外来とかそういったところもあるんじゃないかと敷地の後背地にはどのような地質が分布しているのか、そういったところも観点としては当然出てくると思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:23	その辺も重々認識して検討を進めてございます。
0:28:35	規制庁投入すはい状況が起こりましと。
0:28:45	あとはですね。
0:28:50	何ですか、6 ページにDSs3 ユニット等が改正堆積物に狭在しているとする評価の流れということでちょっと特出ししてわかりやすくしてくれてるんですけど、これで見ると、
0:29:04	今まで説明してきたことと、あと、それほど変わりば言わんなくって、
0:29:14	何て言うんですかねこれまで現地調査とかで言って、その下、その前の会合とかで行ってきたその形成史だとか、火山灰の話、火山灰。
0:29:29	斜長石の話だとか、そういったことっていうのは、ここでも考えていくっていうことなのか、それはもうすでにここに書いてあるよっていうんだったら、ちょっと聞かせていただきたいんですけど。
0:29:51	はい。
0:29:52	以上です。すいません。ご指摘の通り抗力 40 の評価の流れをわかりやすく書いてはいるものも、これまで御説明してきた内容をフロー的にわかりやすくしているのが実態でして、ここになるな追加されてくるかという、
0:30:08	上の黄色が今年の 1 番目の丸なんですけども、そもそものそのf1 開削箇所との比較をしているのであれば、この辺りに大規模な改変が行われていないよねというのが大前提だと思いますので、そのあたりをひとつ肉付けすると。
0:30:25	いうところ、御指摘あった例えば斜長石の観点といったところについては、
0:30:30	アマノ以降こうだという具体的な個々に取り込めるイメージというのは、持っていないのが現状でして、必要に応じて今後の検討でいえる今後の説明者が向上するというのであれば加えていくことを考えたいと思うんですけど、現状としてはそこまで入れるほど、
0:30:47	まだ角度が高まっていないというのが実態です。地方です。
0:30:53	はい規制庁谷です。
0:30:56	状況としては、今書ける範囲で書いてるから、今後、これは結構、これ今は検討中であって、こっから肉付けされますよっていうことで説明されているということは確認しました。
0:31:11	それでちょっとこの表の中に何点か私今までの面談高ヒアリングとかで確認しているようなこと、或いは現地調査かもしれないですけど、ちょっと確認させてください。
0:31:23	ここでF1 断層開削調査箇所との比較っていうことで改正堆積物が標高 54 メーターまで認められるっていうこと書いてるんですよ。これ多分 5 日だったかこのF1 断層開削調査箇所の後段の高さっていうことで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:39	ちょっと確認したことがあったと思うんですよ。で、50メートル後段だっていう話だったと思うんですけど、あれ、こう断定結局確認されました後段の高さって
0:31:53	ワタナベス廃案前今回ご指摘いただいて、50.5じゃないのかというような御指摘が多分趣旨だったかと思うんですけども、こちらもスケッチ、現状残ってるのスケッチ展開図ぐらいしかなくて、正しい高さ情報となかなか限定されるんですけども。
0:32:12	書かれている重断面図、こちらに立たさが落ちています。こちらの準備断面図は、
0:32:19	奥側壁面つまり東側壁面のセンターをとらえた重断面図になってございまして、そこでいくと、この端部の標高というのが51.5と記載されております。また、地表面の標高が62.1メートルというふうに記載がされているので、
0:32:36	その差分から大体スケール感で当たることができるというふうになってございます。こちらの柔軟扇形の位置がほぼセンター垂直だと考えておりますと、
0:32:48	東側に決めに存在している小段については勾配がついてございます。具体的には、北側壁面に向かって混乱が下がっているという形で勾配がついてますんでこの後段の勾配を考えますと、北側壁面のほうにおこたえの高さとしては、
0:33:06	最大で51メートル程度、そこから海側のほうに若干勾配がついてるものというような勾配がついてるものと考えまして、51メートルから海側に向かって標高をどの標高徐々に減じていくということを考えて、約50というような記載をしておったんですけども。
0:33:23	正確な高さとしてはそれぐらいのイメージで書いてるっていうところがありまして、現状前回後期執行質問いただいた内容については確認の結果としてはそういうところとなります。以上です。
0:33:36	はい、規制庁タニです。多分この辺の高さとかですねFC断層開削調査箇所との比較とかいう話をするのであれば、結構厳密な話が必要だと思いますので、しっかりとですね、ここの資料でこうなってるんで今の勾配がついてるっていうのは何で判断したのかとか、
0:33:55	そういったことはちゃんとバックデータとしてまとめてください。お願いします。
0:34:00	あとはですね、
0:34:03	前いつだったかの火山灰分析っていうのは、ここで見ると、例えば角閃石だとかって本当に火山灰か、
0:34:14	火山灰起源なんだろうかとそれともその岩石期限なのかとかいう話をちらりとしたことがあったと思うんですけど、その辺考えとしては結局どうなったんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:38	ワタナベです。火山灰分析に関しては、
0:34:44	明瞭な火山灰を含む地層といったところでサンプリングできてるわけではないので、必ずテフラ起源だという根拠には今ないと思ってますと例えば基盤が揺らいであるものを見ているかもしれないと通常の火山灰分析と同じように、前処理として、
0:35:01	粒度調整をしまして、その中にある非時価字形している、比較的綺麗なものをピックアップして屈折率測定などをしているというところで、必ずテフラ起源ですというものにはなっていないと考えております。以上です。
0:35:18	はい、規制庁とニュースなんか前もそんなかそういう話をしつつ確認するだったか何だかだったと思うんですけどこれ記載の方法としては、
0:35:27	記載としてはやっぱりこのまま火山灰分析という書き方をされるってことですか。
0:35:37	ワタナベです。そういうことですねすいません、地方の名前として火山灰を勘案した名前本当に適正なのかというところですね。
0:35:46	そうですね、その辺は少し考えさせていただいてもいいですか。誤解される可能性も確かに。
0:35:51	テフラを見てるんだっていうふうに思っちゃう人もいるかもしれないので、
0:35:55	その辺はもう少し適正化させていただければと思います。
0:36:00	はい規制庁谷です。まさにそう誤解のないようにお考えがそのままその資料になったときに、ちょっとこずれないようにということで
0:36:10	言ってますので、ぜひお願いいたします。
0:36:22	あとはですね、
0:36:25	6 ページの等々状発生事例の確認ということで、何か有識者の聞き取りだとかまあせ精力的に何か進めるんだということを今説明受けたんですけど、これって登場して全部書かれてるんですけど。
0:36:43	何ていうんですかね。
0:36:45	凍結死んだとか、そういった観点でも整理はされているんですが、今の説明はもう搭乗に限って日登場っていうとなんか
0:36:54	災害だとかそっちの関係の整理をされているような印象がすごく受けるんですけど、凍結死んだとかそういった整理もされているんでしょうか。
0:37:11	凍結深凍結する深さに関しましては、前回の現地調査でもシェルの方に少し入れさせていただいてるんですけども、一般的に言われている値というのがあって、それは泊の周辺ですと、余裕を見込んでいるんですけど 60cm程度と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	なっておりますと 60cm程度っていうのはTSIが関わってくるたしかに震動にはなっております。これも有識者聞き取りの中でというわけではないんですけども、凍結深があるところが必ず登場するとか、そういったものでは決してなくて、
0:37:43	導出と水量が当然関係してくるんだと凍結深としては 60cm、それは 12 月のヒアリング資料とかでも御説明させていただければと思うんですけども。
0:37:54	凍結する例えば道路舗装なんかでいく等を気化をしないといけないと東城の懸念をして承をですね、そういった場合には、泊地域というのは北海道の中置き換え深度が深い地域なのか浅い地域なのかと、そういったところの観点とこのを文献レビューで整理をしているといったところがございます。
0:38:23	はい、規制庁の谷です。凍結深というのは確かに前の資料でも入っていましたので、その凍結浸透だから登場との関係みたいなのも踏まえて整理されるっていうことで理解しましたけど、
0:38:42	ワタナベです。はい、凍結新登場その観点で整理していくということに文献レビューしていくことを考えてるんですけど、今時点で、
0:38:51	7 項事例があったというところには引きつけていないっていうところで、そこは少し、もう少し聞き取りを進めたいなといったところで考えてます。
0:39:09	はい。私の方。
0:39:11	一旦状況確認できました。
0:39:17	規制庁のカイダです。ちょっと重なるところがあつたりの今確認したところと重なるところもあるかもしれませんが、
0:39:27	私の方からも何点か確認です。
0:39:31	先ほどお答えになったと思うんですけど一番何ページ 5 ページの一番下の欄の
0:39:41	うん。
0:39:42	分析関係の話で、今ここに書いてないんですけども、周りのほかの地層もちゃんとやってるということで、
0:39:52	いや、やろうとしているということでしたので、海食崖のものもやってるっていうようなお話があったと思うんですけども、ちょっと改めて確認なんですけど、海食崖のに出てるそこにある。
0:40:08	何というか、時山の時余ったというか、
0:40:13	あと母岩のものも取り出してそれもやっているっていうふうに
0:40:18	考えてよろしいですか。結局これ何でこういう話になったかというと、
0:40:24	海食崖が崩れてやってきたんだしたら、そこにあるやつはもうまさに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:29	その辺の母岩とおなじもんだらう。TSIIに入っているのは、母岩に入っているものが主体であろうし、
0:40:37	そうじゃない、海の砂っていうのは、それとは違うものがいっぱい入ってくるんで識別できるという
0:40:43	そこは発端だったと思うんですけども、
0:40:46	あとで改めて確認なんですけど母岩の部分をどう何かこう取り出してやってるっていうそれもされているっていうことでよろしいですか。
0:40:57	ワタナベです。その通りでして、直背後の海食崖の母岩からサンプリングして分析をしてございます。
0:41:07	はい。規制庁のカイダです。わかりました。
0:41:09	それも書いておいたほうがわかりやすいかなと思います。
0:41:17	各々の想定ということなんですけどそれも書いておいたほうがええとわかりやすいと思いますね。
0:41:25	お願いしたいと思います。
0:41:28	それともう一つなんですけどこれまたこれも重なるかと思うしれないんですが、DTSさんの
0:41:35	分析の分析というか挟まれているっていうことで、今、
0:41:42	今までと同じ
0:41:43	データをちゃんと取りまとめるということなんですけど、これも改めての確認なんですけど、
0:41:49	例えば
0:41:51	工事写真がとかっていう話がここにも書いてあったりして、
0:41:56	工事写真とかその他どんな古いボーリングとかでも、
0:42:01	いいんですけど、何かそういった何か別の情報、ボーリングとかも古いとか安とかも
0:42:08	柱状図とかでもそこはやっぱりないないということで、
0:42:13	こういったことの検討をされているということで、
0:42:17	でしょうか。
0:42:21	ですね、ボーリングに関してましては、今話題止まってる場所というのは、一番のかなとちょっと離れているという関係なくでございましたようなそんな密に行われてございません。それで欲しいヶ所のボーリングってのは存在しなくて、なかなか基本どういうから
0:42:40	存在挟まる聞いたと、証明する兆候というのは得られないかなと思っております。過去の工事記録写真は、現状、明瞭に残っているのはやっぱり工事記録として航空機を飛ばして上空から状況とったような写真で等々、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:56	方案ですよ。なかなか遠くて、それを持ってDTSさんのような砂層がM1の ような改正さに挟まれているというところを言及するのは難しいかなと思ってお りまして、今考えている。これはあくまで6ページに書いているのはこれまでの 説明。
0:43:15	ベースになってしまっているんですけども、このような状況は今現時点で、これ に何か追加もできるのであれば足していきたいと、先ほど話の繰り返しです けどもってございます。
0:43:28	はい、規制庁のカイダさんの状況はわかりました。
0:43:33	それからあともう一つだけですけど、6ページの
0:43:36	東城の話なんですけれども、
0:43:40	おわかりのお答えできる範囲でも構わないんですけどこの有識者への聞き取 りということで、
0:43:49	こういう有識者っていうのは、沢山の方を
0:43:54	書かれてるんですか。例えば小野先生とかそういうのも入って入ってるんでし ょうか。
0:44:02	ワタナベです。ちょっと分野的に登場っていうのが週評価とか釜田波が違うと 思ってまして、どちらかという、土木工学の寒冷地地盤的な話だと思います ので、この辺りは寒冷地地盤の専門家地元の大学の教授とか、
0:44:22	あと北海道2換地地盤土木研究所っていうのがございますので、そういったと ころに聞き取りをしているというのが実態になっております。
0:44:33	規制庁の開発はわかりましたの状況ですか、
0:44:36	わかりました。
0:44:42	規制庁タニです。ちょっともうちょっと確認してはなくなってきて
0:44:47	6ページのですね、この今のBS3ユニットが改正堆積物に狭在したといったと する評価の流れっていうので。
0:44:57	左側のF1断層開削調査箇所との比較で54メートルっていう数字が出てきま すよね。tsrっていうのが50.5に認められて厚みとしてはもっと
0:45:13	厚みをもっとあったと思ってるわけですよ、例えば1メートルだとか2メー ターだとか、
0:45:19	あったとしたら、その上の済ます大型っていうのは、例えば、例えばTsさんが 2メートルだったとしたら、
0:45:29	2メートルぐらいその上に砂層があったっていうのを、
0:45:37	それを説明しようと思って今整理されているっていう理解でいいですか。
0:45:44	ワタナベです。仮に2メートルだとすればその差分となるので、二名と砂が乗 っていたと。そういった話になってこようかとは思いますが。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:34	規制庁タニです。はい、お考えはわかったんですけど、これTS安定。
0:46:42	そうですね
0:46:45	厚み的にはまあまあ上がわからないからわからないってことなのかもしれないけど、そういったことで考えると何か。
0:46:54	やっぱり、
0:46:56	その後、この上に堆積していたとしても最大でだから 3.5 メーター程度なんだってということになるってことですねと特にTSRの厚みを推定するような考えを持っていないってことで、
0:47:12	いいですかね。
0:47:28	ワタナベです。ちょっと現有データでまず厚みを推定するっていうのは難しいんじゃないかなと思ってございまして、それより上挟んでいたという商工F1との比較でもってこう思ってるんですけど、じゃあなんで挟んでいたかと思う一つの状況として右側のフローの
0:47:46	TSIの状況ということで、同じようにTS12と同じように改正さに挟まれてたとするならば、
0:47:53	比較的類似した性状を示すんじゃないか、例えば既往の評価結果で出しているのていくと火山灰分析っていう言い方は、
0:48:01	今させていただきますと、火山灰で洞爺が認められていないとか、斜長石、すいません。
0:48:08	重鉱物側の屈折率が同じようなものが見れるってやはり性状の類似性っていうところも、対応関係として必要になってくる情報だと思いますので、高さ関係で挟まれているとだけというのは、契約者苦しい部分も当然ありますので、この二つを軸に、
0:48:24	挟まれていたとの評価。
0:48:26	左が高さ関係、右がそもそもTs3っていうのが実際挟まれている位置に対して似ているのか似てないのか、このセットで考えているというところですよ。
0:48:43	はい規制庁谷です。だから、地形的な観点もPSIユニットの状況を前と同じようにTS1 とかの類似性ですね、そういったことも非常に重視して評価をするってこと。
0:48:58	かと思えます。これでもですね、Ts3 ユニットの状況って書いてる個々の内容って前回の会合で、まあ似てる場所もあれば似ていない場所もあるっていうような指摘もしてるんですけども、これって
0:49:13	なんかこうあって、新しいそれを類似性っていうのを、前回の説明からぐっとを説明性が高くなるようなことって、
0:49:23	何かこう見通しはあるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	ワタナベです。こちら右側の記載確かにそのまま違いはあるよねっていう指摘は承知してございます。今ちょっと書き方としてフローで見せる関係上こういう書き方になってしまっているんですけど、例えば浅部の扱いをどうするのかっていう観点で今斜長石をやっていたり、
0:49:46	tsrの中に認められる構造、これに関する詳細観察をしていたり、そういったものを組み込んできたときに完全に同じといえるか言えないかっての部分は当然出てきます。そこを最適化してこの右側のフローを流してやって、
0:50:02	最終的な評価に辿り着きたいといった思いになってるんですけど、そこまで今書き出せる状況にデータが出揃ってなくてないので、この書き方は当時のこれまで説明してきたものそのまま据え置かせていただいているというものとどまっています。
0:50:32	はい規制庁谷です。いずれにしてもデータが出てこないとですね我々もこの辺の判断はできないということもありますので、
0:50:41	しっかりと説明をしていただけたら、今後ですね、説明していただけたらと思います。
0:50:53	すいません規制庁ナイトウですけれども、ちょっと何点か確認をね、5 ページのところの二つ目の上から二つ目のやつからPS3 ユニットで結局上に、
0:51:08	乗っかっちゃってると僕は
0:51:11	ローン基盤館のほうの上に乗っかっているというふうにスケッチなんていって現地ではその乗っかっている特許確認できなかったんですけど、そこは残ってるやつをもうちょっと掘ったりとかし削ったりとかして確認しますという話はあったんですけどそれは乗っかっている状況っていうのは確認できた。
0:51:29	ですから、できてないんですかね。
0:51:31	ワタナベベース直接基盤の上に乗っかってしまっているっていう状況は確認できていないです。
0:51:46	規制庁なのですが乗っかっているという状況が確認できていない中で局所的な水平部というのを三次元イメージを用いてという話です。これどうやって説明するつもりなんですか。
0:52:03	ねっか。
0:52:04	状況は露頭スケッチに出させていただいているんですけども、開削側溝設置後右側壁面の距離呈ゼロの辺りでは事実を確認はしてございました。ただし、そこに関して、現地調査前に横断掘削さんに認めたTsさんの連続的な分布状況を確認するということで、横断区
0:52:24	105 おりましたので晶出してしまっているという状況です。事実ベースで直接乗っかってしまっているっていうのを抑えられてるのは、その失われたスケッチに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	書かれていた露頭の壁面だけになってございます。結構ランク錯誤掘ったので、
0:52:41	そこについては再度追い込みで生計をして観察はしてるんですけど直接基盤の上に乗るっていう状況は確認はできてございません。失われた場所だけそれを確認していると、そういった状況等をパネルダイヤグラムであの辺りの分布状況をわかりやすく整理していった、
0:52:59	評価をしていくんですけども、確認ができないというところを踏まえると局所的な家計の壁面にある。
0:53:08	水平の部分ここに乗っかって堆積していたんでしょうという評価を下すというふうに考えてございます。
0:53:26	再観察してんのっているものが見つかってないっていうのはわかりますし、あとはどうやって説明するのかよく考えていただければと。
0:53:36	ねという、あとね、これ 6 ページのほうで結局DSM3 ユニットのTS1 ユニット及びTs2 という類似するっていうのは何を持ってるんですかねこれ結局、ここにPS 3 ユニットの状況で書いてるやつ。
0:53:54	はマイナスと変わらないわけですよ。
0:54:01	これをやると類似をするということをするために、
0:54:07	何をやってるんですかね、TS1 に関しての話っていうのは前で検討状況とか、何も載ってなくて、
0:54:14	何をやってやろうとされているのかっていうのがちょっとよくわからないんですけど。
0:54:22	ワタナベです。すいません御指摘の通りですね、これ従来の評価 5 を書いてしまっているんで、今後、何に取り組んで何をやって評価するっていうのがわからない状況になっておりますのですいませんその辺りは、
0:54:39	適正化修正をさせていただければ大変助かります。
0:54:46	修正はしていただかないとわからないんですけど、実際は何をもってやろうとしてるんですけど、何をやられたワタナベです。実際は、まず、斜長石の屈折率、主成分分析、これが第 1 になってます。これがこれ主成分これから結果出てきて、それも踏まえて、
0:55:06	評価するということを考えてますとTs3 ユニットについては、12 ユニットと違ってセーブというものがあるので、取り扱いがどうなっていくのかといったところには、斜長石等詳細観察、薄片観察、この辺りで、
0:55:23	確認をしていきたいといったところでTS12 との類似性を評価していきたいと考えております。
0:57:01	規制庁ナイトウですけども、もう

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:04	もうね。あの火山灰分析としてやっている軌跡と角閃石、
0:57:08	これ母岩由来かもしれないっていう話もあるんですけども、と母岩が何かによってこれ軌跡と各成績含まれてる成分違うはずなんだけどその辺の分析とかっていうのはやられてます。
0:57:23	また、8月の審査会合資料のほうにも出させていただいているんですけども、基盤がんのほうについても、屈折率重鉱物のとって退避というものは行ってございます。
0:57:49	いや、所潮汐に限らず、
0:57:52	なんだけど。
0:57:55	そこはやっぱり
0:58:00	ですね、データ追加するときに斜長石とか見てどう、どうこうっていうのとあわせて今までやってきたですね奇跡だって輝石だとか、角閃石でしたっけ。そういったデータもしっかりとその退避の
0:58:16	する項目に含めてですね。
0:58:19	説明していただけたらと今は何かの斜長石のデータを追加するから何かわかりそうだとかそういう話にしかなくなってないんだけど、今まで取ってきたデータも全部含めて、やっぱりちょっと総合的に判断していただけたらなと思っておりますので、
0:58:37	ワタナベ承知いたしました。今までやってきている取り組み斜方輝石と角閃石こうやってございますので、それらを踏まえてという形で整理させていただきます。
0:59:09	これ、
0:59:10	後々ね、ちょっと確認なんですけれども、刀禰全体の主要構成案という話で書いてあるんだけど、議論のあった敷地に聞く褶曲ありますよねっていう話とかは出てくるのかな。
0:59:26	どうすんですか。
0:59:56	はい。
0:59:57	ワタナベです。今時点のところ考えてはいなかったんですけども入れるとすればいいの敷地の地質構造の構造の全体ゾーンを述べる際にシェブロンお話かと思えますけども、その辺りの地質構造の状況を入れていくといったことで対応は可能かと思っております。
1:00:18	はい。それは入れられるんだと言ってもらったほうがいいし、何でそれ気にしているかというところ8ページのところでね。
1:00:27	層面滑りD
1:00:30	これはF8F3、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:34	これ神恵内層途中で消滅しているから、活動は認められないとしてるんだけど。
1:00:41	消滅しているイコール活動は認められないようにはならないですよ。
1:01:02	ワタナベです。当御指摘の通り消滅だけでは活動性否定できないということで、断層系として、層面断層YKTというのがF38、11となっていて、
1:01:17	実際 11 をもって活動性評価するということで断層系自体として評価するというのが適正かと思しますので、ちょっとこの書き方が確かに適正ではないような気がしますので、そこは修正させていただきます。
1:01:34	はい。そういうことねところこれF8、F算定、
1:01:39	そう、層面滑りというか、
1:01:42	なんですけど、層理に沿った断層でしたっけ。
1:01:47	確かそう記憶しているとか配置想像異例滑ってるってもですね、阿片してるといいですか。
1:01:56	破碎部があるやつだよ、変位量わからないって言ってたやつですよ。いやそうすると古い多分あの大きく褶曲とかシェブロン古い普段というけれども、
1:02:06	それに伴うものなのかもしれないし、その辺を全体でどうやって整理するのかなってところなんですけども。
1:02:18	ワタナベはい、承知いたしました。その辺も踏まえて検討させてください。
1:02:30	規制庁の谷です。
1:02:31	私もこれもここですね
1:02:36	多分 3 ポツに関係あるのかもしれないですけど、f1 断層の調査で、
1:02:41	その他にも劣化したような区間劣化っていう言葉だとか、ちょっとはつきりしてないんですけど、劣化部ですかね。そういったものの扱っていうのは、御社としては、新たに説明することは、
1:02:57	ないんでしたっけ。
1:02:59	これ何か追加して説明というのがあるんですかね。
1:03:03	ワタナベ劣化部評価に関しましてもこれまでの会合でいきますと、4 月の審査会合でその辺りも御説明させていただいてまして、特段今後追加で説明を差し上げるといったものは考えておりません。
1:03:25	規制庁の谷です。だからその一辺で断層としても追加するような断層がなくなっっていうようなことで今後こういった構成案ってなってるってことで、
1:03:36	お考えを今後確認しました。
1:03:58	あとですね、向性 4 の込ま考えかたの順番でこうやって書かれてるんだと思うんですけど、9 ページのですね。
1:04:07	ちょっと気になったのが 5.2. 3 で形成していいですよ、この地層の形成し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:16	これが何か考察っていう位置付けであるわけなんですよ。資料としては、ひょっとしたらこういった位置付けになるのかもしれないんですけどこれってやっぱりそのなんて言うんですかね、地層の認定の妥当性みたいなのに関わってくるようなことで、
1:04:34	むしろ地層認定にすごく関係が深いような内容だと思うんですけど、その辺、ちょっとここに入れている理由っていうのを簡単に説明してもらっていいですか。
1:04:48	はい、ワタナベです。地層の認定の観点でいくと、この一章が地層関連なので、もうそこっていうのが一つあり得るんですけど、今もう対象にしている場所にF1があるということで気になるのがF1は活動しましたとか、その前でそのあとですといったところがございましてので、
1:05:07	それを形成し示そうとすると、活動はいつまでだったんだと、いつから活動していないんだって情報がどうしても必要になるので一番最後にその結果も踏まえて形成症鞍部という構成になるんだらうなと考えておりましてこのような位置に入れております。
1:05:29	規制庁タニです。位置付けと位置としてはこういったところでいいけれども、今の説明だと地層の区分を考える上でもしっかりとこれは何ていうんすかねフィードバックじゃないけど、考えながらやるっていうことなんですか。
1:06:00	ワタナベです。
1:06:02	ご指摘の趣旨承知いたしました。これだとはそうですね確かにこの一章でやってる地層区分が妥当だったのかどうかとかっていうのをフィードバックめいたものが見えてこないようなつくりになってしまってるので言っておいて、K考える一応この2-3にならざるを得ないんですけど。
1:06:19	これをAND上で、この5-1に売ってる区分っていうのが妥当なのかどうかとといったところの評価、その辺りをするような作りにしようと思います。
1:06:49	規制庁ナイトウですけども、1とね。
1:06:53	後で津波も聞くんですけども進捗状況の説明ということで、これですぐ会合行きたいと思ってるんですけども、進捗状況の説明だから、後ろもね、今後説明する資料構成安定。
1:07:09	出てきたデータによってまた変わり得るって多分、
1:07:13	いや、だから、ここまで
1:07:16	これを出しますと言われても、はあそうですかになるんですけど。
1:07:20	それからコメントした内容について
1:07:25	答えをカバーできるようなことをやっているんですよ大丈夫ですよっていう確認のために、中間会合を開く進捗状況の会合を開くので。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:35	それから資料としては、
1:07:38	6 ページまでになるのかなというふうになるんでお願いしたいし、これ文章しか載ってないから、逆に言うと、じゃあMI売りと下部の再され基礎におい基底面が編集してる状況ってあるんだけどそれってどういう状況なのっていうのは何か図面つけてもらわないとわからないし、
1:07:56	北側開削箇所北側、南側ってあるけど全体の 1 例あった関係もつけておかないと、外からの人はわかりづらいし、必要な図面というのをちゃんとつけてもらいたいんですけども、それはいいですか。
1:08:19	北海道電力の泉でございます。まず進捗中計の会合などで 8 ページ 9 ページまでは不要ではないかといったコメントですけれどもここはそういった趣旨だというのであれば 8 ページ 9 ページは、
1:08:35	資料から外したいと思います。あと、6 ページまでの資料説明の中で図面が足りないとか、そういった丁寧さに欠けるっていうところについては今のコメントの趣旨を理解した上で対応したいというふうに思います。以上です。
1:08:54	はい。お願いをします。これ多分、このDF2 ユニット開運はユニットとかっていったときにここですけどっていうかないと。
1:09:02	議論空中戦になっちゃいますよね。
1:09:06	なので、ここの部分のことというコメントに対しては今こういう状況になってこういうことをやっていますっていう説明ができるようにちゃんと図面もしっかりつけた形でやっていただければと。
1:09:17	おもいます。
1:09:19	んで。
1:09:22	あとは、これは、
1:09:24	表題もこれ 3 号炉のコメント回答になっているんだけど、コメント回答ではなくて指摘された事項に対するIAEA等、進捗状況なんだっていうね。
1:09:38	表題としては、
1:09:40	多分コメント回答の前段階だと思うので、その辺も適正化してもらえと。
1:09:48	おもいます。
1:09:54	はい、北海道電力ビジネスのコメント回答ではないので、そこに冷蔵外すなど、適正なタイトルにしたいと思います。
1:10:04	以上です。
1:10:12	はい。規制庁宛ですけど、認識をあとすべて確認ときますけれども、これは 9 月、9 月 10 日、11 日の現地調査における指摘事項を踏まえた追加の検討の進捗状況の説明。
1:10:27	っていうそういう位置付けでいいんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:31	はい、そういう位置付けです。
1:10:34	はい。起こりますと、あとねこれは後でも言っていると思う。基本そんなには置いとく話じゃないので。
1:10:45	最終規則で 20 日。
1:10:52	の会合を考えたいと思っているので、
1:10:57	ちょっとその準備をお願いできますでしょうか。
1:11:09	です。今のコメントされた必要な修正を施した上で対応できるように作業を進めたいと思います。
1:11:58	えっとね 20 日にやろうとすると、資料を今週中に出してもらいたいっていう話なんだけどそれは対応できます。
1:12:17	ワタナベですあ、資料の持ち込みもあれですかね打ち出しへ 2015 分とかそういうものを今週っていう形になるんですか。
1:12:30	いや電子媒体、規制庁なんて電子媒体だけ的に出資したやつを確認した上で我々内部でええと本番に向けての検討しなきゃいけないのでその時間も含めて、
1:12:43	考えると、現場で構わないので、
1:12:48	今週中でも、
1:12:50	販売内メールが来使い 2 からインターネットが使えないから、結局、
1:12:55	支社からやりたいやつを
1:12:58	CDかなんかでやったやつをどけてもらわなきゃいけないんだけどそれって大丈夫ですか。承知いたしました等／なんていうんですけど金曜日の少し遅い時間でも問題ないでしょうか。
1:13:17	はい、それで大丈夫です。どれくらい時間になるかはちょっと受け取りをするタニさんと後でよく
1:13:25	お互いの時間の中でねこ念押ししてください。
1:13:30	ありがとうございます。
1:13:45	規制庁タニです。それでは地質のほうは、ここまでにして基準津波について
1:13:53	津波評価についての工程ですね、説明お願いいたします。
1:14:00	はい。
1:14:02	奥寺でございます。説明させていただきますと、この資料のほうは、本日 12 月、10 月 26 日のベースの資料に基づいて検討状況を補足させていただきたいと思います。
1:14:18	まずですけれども、今までの経緯も触れながら概要説明ということで、もともと 2 本回答縁部に想定される地震に伴う津波のような検討項目としては、想定波源域の範囲。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:35	或いはパラメータストーリーの内容、そして防波堤とか防潮低の損傷を考慮した地形によるパラメータスタディでそういったものが主な検討項目だと考えておりましたのでこれらの検討を進めていく中で、
1:14:52	基準津波の試解析を実施した結果、津波は敷地南側も調停閉じ山が接続される食う各部と言いましたけれども、そこに局所的に集中して津波水位が高くなる可能性が確認された。
1:15:10	という事実とかあります。
1:15:12	これに伴って当社の中の話ですけれども、調停の平面線形の一部見直しを行い、
1:15:19	解析モデルの中の地形モデルを変更を行っていたと。
1:15:24	というような、基本的な状況があります。このような状況の中で、8月17日の面談で説明した内容となりますけれども、解析を実施する前段として、日本海等Mの想定波源域
1:15:43	或いはパラメータスタディの考え方に関して、整理をしているところであります。至近の先行審査プラントの状況から何点かありますけれどもまずは日本海等縁部の地震は東西圧縮場という中で発生している。
1:16:01	特殊な地震であって、変動幅があるということを踏まえまして、日本回答縁部の特性について整理する。
1:16:10	また、日本海等縁部に想定される地震について地下構造の考慮等と断層端部の設定根拠を整理すること。
1:16:20	として設定した波源モデルにおいて想定した。
1:16:24	8ケースになりますけれども断層パターンの根拠を整理するということ。
1:16:30	あと、根本ほかという文献がありますけれどもアスペリティモデルを採用した理由や保守性の整理を行うということ。
1:16:39	最大滑り量12メートルの根拠の整理を行うということ。
1:16:43	日本回答縁部に関する最新知見が津波評価に及ぼす影響の整理を行うこと。
1:16:51	そして解析に直接関わる場所となりますけれども、パラメータスタディにおける実施するパラメータスタディ公務項目をどう設定したかと、そういったところの根拠の整理などの追加検討が至近の先行審査プラントを参考したときに発生しましたので、
1:17:11	工程を美称見直していたというのが8月17日の説明した状況であります。今回ですけれども、検討の進捗状況を踏まえて、想定波源域
1:17:26	パラメータスタディの考え方につきましては、
1:17:30	表に示しておりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:33	12月の月上旬に目標を置いて評価結果を御説明したいとそのように考えてございますか。
1:17:42	また、基準津波策定までの説明については、今日の中に示しておりますけれども、
1:17:50	B、Cという項目を伴って、Dの基準津波の策定に関しては3月上旬を目標にして評価結果の御説明をしたいとそのように示してございます。
1:18:06	これらの考え方の要点といたしましては、
1:18:09	の項目につきましては、合わせてパラメータスタディの検討方針
1:18:16	いわゆる検討フローというものを今までもなしでございまして、それを取りまとめた上で、12月上旬にまとめて説明したいというようなことを考えてございます。
1:18:28	その辺を審議いただいた後にの内容に従いまして、Pのシミュレーション。
1:18:36	これについては防潮堤防波堤の損傷を考慮した地形によるパラメータスタディも含めて、解析を実施するというふうに考えてございます。その結果に基づきまして、
1:18:51	重畳の検討、或いは基準津波の策定というところを取りまとめた上で、3月上旬に、その内容を説明すると、そのように目標設定した内容をここに示していると。
1:19:05	ということでございます。
1:19:07	羊蹄も含めまして工程の内容を検討内容についての説明については以上でございます。
1:19:19	はい、規制庁の谷です。
1:19:22	と説明いただいた内容と10月26日に提出いただいた。
1:19:29	工程とあわせて8月17日ですかね。面談で受け取ってるようなものの内容を合わせて説明いただいたと思うんですけど。
1:19:39	ちょっと説明いただいた内容を会合の中ではですね。
1:19:45	要するにこの評価項目っていうのが具体的に何なのかができるだけわかるようにしていただきたいし、先ほどもありましたけど、何か図面みたいなものもあればですね。そういったことも示して説明していただきたいのと、
1:20:02	ちょっと
1:20:03	あとはですねこの異議の基準津波による安全性評価っていうのはこれは何か砂移動だとか、超過確率だとかそういった話なんだっていうのは、前回これ提出していただいた時にですねあの確認をしてるんですけど、その辺もしっかり等としていただけたらなど。
1:20:20	思いますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:22	それもさっきという話と合わせて今週 10 とかで、
1:20:28	整理できるものなのかっていうのは、
1:20:31	整理できる範囲ですね、
1:20:34	資料化していただきたいんですけどよろしいですか。
1:20:40	今の趣旨につきましては、私は今、今日、1 枚のペーパーで説明させていただいたところのわかりやすさということで、abcdいい等について口頭での説明内容、或いは今のタニさんからの
1:20:58	確認内容も含めて、極力わかりやすくするように説明を加えていくような資料をつくるという内容ということで確認はよろしいでしょうか。
1:21:14	規制庁単位でその通りです。
1:21:24	一方、
1:21:25	タニです。その通りですよ。
1:21:34	規制庁ないというけども、えっとね
1:21:42	聞こえてます。
1:21:43	大丈夫ですね、超えております。規制庁ナイトウですけれども、
1:21:49	当先っての 20 日の日に最速で開口やろうと思ってますけれども、これ地質不安断層の話も進捗状況で、スケジュール感って話なので、
1:22:04	御北海道電力は敷地内と津波を並行デットで地震動と火山は、当敷地部隊が一緒になるので、そのあとという話で進んでいる。
1:22:20	っていう中で、
1:22:22	当スケジュール感を進めるといったスケジュールがどういうふうになってるのかっていうのをきちんと平場でやりたいと思って津浪に関してもスケジュール感と一緒に会合で説明していただこうと思ってますんで。
1:22:36	DBなんで当時間かかっているのかとこういうことをやらなくやっているので時間がかかってますということはちゃんと明示的にわかるようにしていただきたいということで、特にポツのところでも説明が 12 月。
1:22:53	上旬になりますという話。
1:22:57	の中になるのはこういうことを今検討しているからですというのがわかるようにしていただきたいという、そういうことなんですけど。
1:23:09	私が先ほど口頭で説明した内容等について文献調査或いは説明の取りまとめを行っているところですので、そういった今さっき説明した具体的内容等を
1:23:26	極力時間内に説明。
1:23:29	するような金曜日までの時間だということで先ほど伺ってますので、
1:23:38	その内容を落とし込むような形で検討させていただきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:46	はい。規制庁ナイトウですけれども、やっている具体的な内容っていうよりは、ほぼ項目ですよ。こういう項目を基礎再度追加で検討する必要があったので今これを今後もこの項目をやってる最中なんですっていうことがわかるようにしてもらえばいいので。
1:24:01	そんな分厚い資料じゃなくてこの後ろにAとAぽつでやってる内容とあと箇条書きで書いてもらえばそれで済む話だと思います。
1:24:11	そこが最低必要なんだけど、そのあとの話、
1:24:20	お答えさ説明したように各部でできますとか、これますとかそういう話をするのであれば、
1:24:29	敷地里道全体のレイアウトつけないといけないとか出てくるし、その辺はどこまで説明するという中でちょっとよく考えてもらいたいですけども。
1:24:43	北海道電力奥寺でございます。閑空かけると、先ほどの私の口頭補足については8月17日、以前の内容っていうのを少し、今回の説明に関して入れたいほうがいいと思ったので、
1:25:01	その流れとして言っていたんですけれども、今やっている検討項目ということを整理するのであれば、そういった複雑な内容等については特に数値シミュレーションがどうかっていうのは計算上の話で、名。
1:25:17	そうかなと感じました。その辺も含めて、今ナイトウさんがおっしゃったことをわかりやすく説明するようなしかも簡潔にわかりわかるような形で整理していきたいなと思いますが、こちらの方で検討させてください。
1:25:40	はい。
1:25:41	いや、日英とか会合の平場でやるのはなんで時間かかっているのかってことがわかればいいと思っているので、そこがわかるような資料をちょっとこれも申し訳ないけれども、今週中ぐらいにまとめないと来週20日間に合わなくなっちゃうので、そこはちょっと
1:25:59	初等のリストになっちゃうんですけどもよろしくお願いします。
1:26:04	わかりました趣旨、理解しておりますのでその前に従って検討させていただきます。
1:26:17	規制庁のサグチですけれども、
1:26:19	ちょっとだけ確認をさせてください。これまでもう私面談ちょっと出なかったんですけど8月のときに、これまでっていうのは、
1:26:31	今の工程のポストBポツ合わせて、
1:26:41	今度説明されてその時期について検討するという。
1:26:46	お話だったとっていて、
1:26:50	この二つをあわせて12月上旬なのかなと実は私思っていたんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:59	今書かれているのかとレポートだけっていうことは、
1:27:04	これまでに御説明いただいたのから、やっぱり、さらにこれ工期が遅れてるっていう、そういうことなんで。
1:27:15	北海道電力奥寺でございます。今まで説明していただき、議論をさせていただいた中で、
1:27:23	まずは、
1:27:25	今一言で波源域及びパラメータスタディの考え方と書いてありますけれども、こちらのほうをきちんとまとめてまとめないと数値シミュレーション自体の内容というのはどんどん変わるだろうと。
1:27:41	というようなご指摘等もございましたので、それを覚えてまずは余裕の内容を
1:27:49	整理させていただくというふうにごこちらのほうで説明の仕方を整理させていただいたものです。
1:28:01	はい。規制庁サグチです。なので、本当の当初の予定をされていたスケジュールよりはちょっと伸びている。
1:28:11	8月の時点でもって構いませんけど、そういう理解でよろしいですか。
1:28:18	はい。
1:28:19	北海道電力奥寺でございます。
1:28:22	それに伴ってこれというよりはですね、こちらを本案の
1:28:29	括弧書き、
1:28:31	違う、若干書かれてございますけれども、至近の先行審査プラントの状況で検討項目が正ましたのでAIの項目に関してですね、その内容精査。
1:28:46	取りまとめ、或いは調整等も一部入ってるんですけども、そこら辺の時間がかかって進捗が若干伸びていると、そういった理由になります。
1:29:04	はい。規制庁のサグチです。状況についてはわかりましたので。もう1点だけちょっと確認をさせていただきたいと思うんですけど、それは当然を御社
1:29:19	これは社長との意見交換会で、
1:29:23	敷地内のF1断層の活動性に直接関係。
1:29:28	市内、日本回答縁部の津波評価については、同時並行的に審査をしていただきたいということで我々もそれに対して今答えた形で審査をしているっていう状況なんですけど、
1:29:44	これ見させていただきますと、津波評価全体ですね。
1:29:49	日本回答縁部以外も含めてっていう形で今スケジュールが出されているんですけども。
1:29:56	もうすべてすべて津波評価については、このスケジュールを予定されているっていう理解でまずよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:10	北海道電力奥寺でございます。
1:30:13	委員の想定波源域パラメータスタディの考え方について、12月の説明をして、仮にこれを規定にして理解を得られたという場合は計算をこのスケジュールでも合わせていくと。
1:30:31	おそらく持って我々の想定ではありますけれども、
1:30:37	Eまでの流れは、このようになっていくのではないかと現在の目標、或いは想定に相当するものを書かせていただいています。
1:30:49	はい、規制庁サグチです。
1:30:51	考え方はわかりましたけど、当然ですねこれ
1:30:55	ご承知と思いますけれども、地震のところで積丹半島沖の地震が
1:31:02	当然それは海域の活断層に相当するので、当然これは津波にも、
1:31:08	影響していくものであって、今のこのスケジュール表の強い意向ではこれ関連してくるものですね。
1:31:16	なので、当然、
1:31:19	この中にはそれも、
1:31:22	入っているっていうふうに考えてよろしいでしょうか。
1:31:51	北海道電力奥寺でございます。
1:31:54	今までの計算状況これまで我々がやってきた計算過去の説明内容もあるんですけど、
1:32:04	地震に伴う津波については、
1:32:08	もうおそらく持って、日本海等縁部の地震に伴う津波が圧倒的に大きいであろうということを想定してございますので、
1:32:20	この工程については積丹に作用左右される内容ではないということで、
1:32:27	B-或いはCの数値シミュレーションの中にはその内容は、
1:32:36	入れ婚礼ございません。
1:32:42	はい、サグチです。
1:32:44	一応お考え方。
1:32:46	伺いましたので。
1:32:48	少なくともそういうお考えで或いはまあそこそこには
1:32:52	例えばそれc項ですね、c項のところには、今の日本回頭円分がこの水密にとっては最も大きいものだとか、
1:33:00	そういったのもちょっと入れ込んでいただきたいと思うんですけど、いかがですか。
1:33:09	はい、内容を検討させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:20	規制庁ナイトウですけれども、その関係でちょっと積丹の隆起というのを想定する断層で地震動の評価を
1:33:30	やるって話になっていて不安が片づいたらやろうという話になってるんだけど、Fはまだ切りはついていないんだけど不安が地震を起こすようなものではないとした場合、
1:33:52	のやっぱ御社としてはそうなるはずだから、その地震動側の準備状況ってどうなってます積丹のところの1点を規程にしておき方は自負自由度がすごくあるんで、それを考慮した上で、敷地に一番厳しいかくなるような形で、
1:34:08	実際にと断層の位置を決めた上で地震動を評価するべきってところで、地震のとこ一括トップなっちゃってるんですけども、その準備状況っていうのはどういう状況になっていますか。
1:34:23	すみません。
1:34:24	北海道電力数ですけれども、能登さんがおっしゃられたように、以前、
1:34:31	そういうことが本当の請願に仮定した断層での地震動の説明を整えさせていただいてそのときにコメントいただいておりますのでその整理を今進めていて、F1がもう概ね了解いただいて、
1:34:48	その段階ですすね、次のステップとしてそちらのほうの説明に取りかかれるような準備を進めております。
1:34:57	規制庁ナイトウですけれども、だから不安が
1:35:05	かつでも地震動考えるものではないとした場合の準備としては計算まで全部終わってるっていう、そういう状況っていう理解でいいですか。
1:35:15	はい。そのような状況になっております。
1:35:22	はい、あります。
1:35:25	と
1:35:27	どっち。ちなみに請願力やつてあそこの何だ、音波で見つけている指定できないよねって言ってんを起点にどういう形で
1:35:43	いった形のを想定しているのかってのはわかります。
1:35:48	養父ですけれども、Zoneから御説明のときまでの状況ですと、
1:35:54	基点をですすねから一番断層面をですすねサイト側に近づけた状況で、
1:36:04	さらに走向方向のパラメータスタディを実施して地震動を評価すると、そういう状況です。
1:36:28	すみません規制庁側ですけれども、すみませんあそこの1点をアスペリティ1E-
1:36:37	初めにしておいているんでしたっけ、プラス傾斜は層厚話者発電ニースパラスタやって傾斜もその上でパラスタやってるっていう、そういうことでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:48	け
1:36:56	北海道電力斎藤です。園田層の来言ってるの一番北はじにしまして、サイトに近いほうにまず断層面を作っているということと、アスペリティについても今 1. のところを、
1:37:13	初めにしてその他層面の中に一番その他、1. のところに見えているところに断あのアスペリティ置いているという状況でございます。
1:37:38	規制庁あったんですけど、確認ですけど、ここ。
1:37:41	泊地域って地震発生層すごく暑かったんだけどそれはそのまま使ってるっていうことではなんですよ。
1:37:48	確認なんですけど、斎藤です。おっしゃる通りですね。
1:37:53	はい、いい状況はわかりました。あと残ってるやつで大きいのはか 3。
1:38:00	火山灰。
1:38:02	層厚問題があるんですけども、これはどういう準備状況になった。
1:38:06	ていますか。
1:38:19	北海道電力の泉でございます火山については、
1:38:23	総厚の再評価ということが課題にありますので、そこでそれに関するシミュレーションを実施しているといったような状況でございます。
1:38:38	以上です。
1:39:31	規制庁ナイトウですけども、
1:39:36	とシミュレーションを今やられてるっていうのはわかったんですけども、
1:39:42	どういう考え方に基づいてどれをどの山を対象に、どんなシミュレーションやられてるんですか。
1:40:05	ワタナベベースの降下火山灰のシミュレーションについては、従来説明していた敷地に最も近いテフラを噴出多く噴出しているようにこれがまず基本にあるんですけども、それ以外として、
1:40:22	160km圏内でいけば、最もテフラの噴火規模が大きいと知られているのがにはなるので、この辺りを対象にシミュレーションをしているという状況です。
1:41:55	はい。何となく規制庁ナイトウですけど、やられていることは何となくわかりました。資料は含み益等、地震動の話と火山の話は資料は用意していただかなくてもいいんですけども、
1:42:12	状況については家具のところを確認させていただこうとは思いますが、今どう
1:42:19	ことを考えてどういうことやってるのかっていうことについてはきちんと答えられるようにしといていただければというふうに思います。よろしいでしょうか。
1:42:30	はい、北海道電力です。了解いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:52	規制庁タニです。こちらからの確認事項は今以上になるんですけど。
1:42:57	北電のほうからは何かありますか。
1:43:08	北海道電カイズミでございます。当方から追加で確認したい事項等ございません。
1:43:15	以上です。
1:43:18	規制庁タニです。それではこれでヒアリング降りたいと思います。お疲れ様でした。
1:43:27	お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。